サケ稚魚放流情報 No.3









平成27年4月16日 岩手県水産技術センター 漁業資源部

TEL: 0193-26-7915 FAX: 0193-26-7920

E-mail: CE0012@pref.iwate.jp

表面水温は、平年比では平年並、前年比では前年並~3℃程度高めで推移し、いずれ の湾においてもサケの適水温の範囲内にあります。

動物プランクトンは、いずれの湾においても3月下旬より増加傾向にあります。 水温がサケの適水温まで上昇し、動物プランクトンも増加傾向にあることから、 積極的に放流を進めてください。

1 表面水温

4月8、9日の表面水温は、宮古湾 7.5 \mathbb{C} (平年 7.6 \mathbb{C} 、前年 6.9 \mathbb{C})、山田湾 7.7 \mathbb{C} (6.9 \mathbb{C} 、4.5 \mathbb{C})、唐丹湾 6.3 \mathbb{C} (7.1 \mathbb{C} 、4.0 \mathbb{C})、越喜来湾 6.4 \mathbb{C} (7.1 \mathbb{C} 、4.2 \mathbb{C})、大船渡湾 7.1 \mathbb{C} (7.7 \mathbb{C} 、5.4 \mathbb{C})と、平年比では平年並、前年比では前年並~3 \mathbb{C} 程度高めで推移 し、いずれの湾でもサケの適水温下限である 5 \mathbb{C} を 1 \mathbb{C} \mathbb{C} 2 \mathbb{C} 2 \mathbb{C} 2 \mathbb{C} 2 \mathbb{C} 2 \mathbb{C} 3 \mathbb{C} 2 \mathbb{C} 2 \mathbb{C} 3 \mathbb{C} 2 \mathbb{C} 2 \mathbb{C} 3 \mathbb{C} 3 \mathbb{C} 2 \mathbb{C} 3 \mathbb{C} 2 \mathbb{C} 3 \mathbb{C} 2 \mathbb{C} 3 \mathbb{C} 2 \mathbb{C} 3 \mathbb{C} 4 \mathbb{C} 3 \mathbb{C} 3 \mathbb{C} 2 \mathbb{C} 3 \mathbb{C} 4 \mathbb{C} 3 \mathbb{C} 3 \mathbb{C} 4 \mathbb{C} 3 \mathbb{C} 4 \mathbb{C} 3 \mathbb{C} 4 \mathbb{C} 3 \mathbb{C} 4 \mathbb{C} 5 \mathbb{C} 5 \mathbb{C} 6 \mathbb{C} 5 \mathbb{C} 6 \mathbb{C} 7 \mathbb{C} 6 \mathbb{C} 7 \mathbb{C} 6 \mathbb{C} 6 \mathbb{C} 7 \mathbb{C} 7 \mathbb{C} 7 \mathbb{C} 7 \mathbb{C} 7 \mathbb{C} 7 \mathbb{C} 9 $\mathbb{C$

2 動物プランクトン沈殿量

4 月 8、9 日のノルパックネット鉛直 20m曳きによる動物プランクトンの沈殿量は、宮古湾 2.99ml/m³ (平年 1.47ml/m³、前年 1.32ml/m³)、山田湾 0.88ml/m³ (0.95ml/m³、3.75ml/m³)、唐丹湾 1.00ml/m³ (1.67ml/m³、2.20ml/m³)、越喜来湾 1.19ml/m³ (1.57ml/m³、1.17ml/m³)、大船渡湾 2.00ml/m³ (0.96ml/m³、2.71ml/m³) でした。

平年比では宮古湾及び大船渡湾で多め、その他の湾では平年並~若干少なめとなっています。 また、前年比では宮古湾と越喜来湾で前年並~若干多め、その他の湾では少なめとなっています。 ただし、<u>いずれの湾においても3月下旬より増加傾向にあります。</u>

3 その他

- (1) 本情報は、漁業指導調査船「北上丸」の調査結果を基に作成しました。
- (2) 放流情報は5月下旬までお知らせする予定です。
- (3) いわて大漁ナビ(http://www.suigi.pref.iwate.jp/) の定地水温情報・衛星画像や、当センター発行の海況情報等も参考にしてください。
 - * 括弧内の数値:前者は過去10~12年間の同期の平均値。後者は前年度の同期の値。

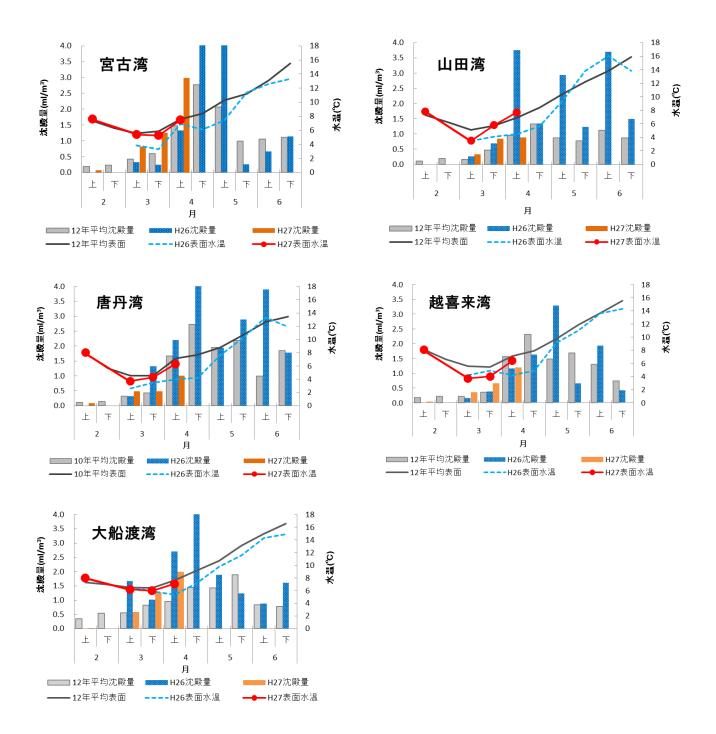


図 5湾における動物プランクトン沈殿量,表面水温の季節変化